

ことばを育てるヒント … 『ことばさがし』

しりとりは子どもの好きなあそびですが、音の分解やルールの理解など、いろいろな力が必要です。また「かえる」を「あえる」、「てれび」を「てびれ」と言うなどの覚え違いや、言い間違えに子ども自身はまだ気が付いていないかも知れません。

ここでは「かえる」ということばが「か」+「え」+「る」の3つの音からできていることや、語頭音は「か」であることなどの気付きにつながることばあそびをご紹介します。

「○」のつくことばさがし

最初は語頭音（単語の最初の音）のことばさがしがおすすめです。

語中音（単語の真ん中の音）や語尾音（単語の最後の音）のことばさがしは、語頭音に比べると難しいですが、子どもの年齢に応じてチャレンジしてみてください！。

例：「か」・「り」のつくことば

「か」	語頭	かさ	語中	さかな	語尾	すいか
「り」		りんご		きりん		かまきり

*慣れるまでは、絵カードや単語カードなど見るものをヒントにしてやってみましょう。

～乳幼児期の育ちを考える～

失敗や負けは子どもが傷つくからダメ？

成功体験を積むことで、自信や意欲を育てることはとても大切です。しかし、子ども本来の姿は、ああでもないこうでもないと自分で考え行動し、試行錯誤、実験、体験しながら回り道、寄り道していくものです。自己決定した事に関しては、どんな結果であろうと受け止める力が備わっているはずなんです。それは、結果重視ではないからです。子どもの満足感はどこで生まれるのか、大人は理解してあげましょう。

ただ、大人の価値観、評価を子どもの世界に持ち込んでいる事が多いですね。大人の言動によっては、子どもは傷ついた体験で終わる危険性があります。

子ども達は様々な負の感情とも向き合い、それを成長の糧としていきます。その作業は一人ではなく、周りの大人や仲間が気持ちに共感し、自力で立ち上がるのを「信じて待つ」くれている事が大事なのです。

それを端的によく表している詩を紹介します。

「柔道の基本は受け身」(相田みつお)

柔道の基本ではカッコよく勝つことを教えない
素直にころぶことを教える
いさぎよく負けることを教える
長い人生にはカッコよく勝つことよりも
ぶざまに負けたり だらしなく恥をさらすこと
のほうがはるかに多いからです

(省略)

その代り ころんでもすぐ起き上がる
負けてもすぐ立ち直る それが受け身の極意
受け身が身に付けば達人だ

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます
夢と希望のもてる たからっこを
応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター
〒665-8665 宝塚市東洋町1-1
電話 0797-71-1141(市役所)
0797-77-2132(直通)
FAX 0797-71-1891
E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。